

# 電源利用時の注意事項

## 機器設置事前確認

電源を利用される1週間前までに、「◆電源利用安全確認票◆」の機器設置時(事前確認)欄を記入いただきまして、「レイアウト図(各コンセント番号記載)」と共にオペレーションセンター担当者へご提出ください。

## 機器設置時

- ① 事前確認にて承認した内容の設置を基本とします。設置時に変更があった場合は速やかに申し出ていただき、変更も加えた電源回路の最大容量が80%かつその他の安全確認が必要となり、設営確認に時間を要することから出来るだけ変更が生じないように、計画時にはご注意ください。  
**※変更事項に関して安全確認出来ない場合は電源の利用をお断りする場合がございます。**
- ② 原則使用できる機器は100V機器のみです。キッチンカー等で200V機器を使用の場合は、計画前にご相談ください。
- ③ 機器のコードおよびプラグを点検し、傷(擦り傷も含む)、つぶれ、焼損跡および接続部の緩みがある場合は使用しないでください。また、配線接続用差込コネクタ(通称:ワゴ)等での改造コードや、電気工事士施工以外の改造コードおよびプラグは使用しないでください。
- ④ テーブルタップを使用する場合はテーブルタップの使用注意事項を守り施工してください。
- ⑤ 配線コード等の機器はトラブルの危険性があるため、お貸出しできません。事前にオペレーションセンター担当者に確認のうえ、ご用意をお願いします。
- ⑥ コードを使用時は、複数の連結や、壁や床への固定は禁止です。

## 使用時

- ① 煙、異臭が有る場合は直ちに使用を中止し、防災センターまで連絡してください。
- ② コードの抜き差しはコードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜く様にしてください。
- ③ 常にコード表面の傷、つぶれ、発熱および接続部の緩みに気を付け、異常が有る場合はただちに使用を中止し、新しい物と交換してください。また、電気工事士以外の修理・改造・配線接続用差込コネクタ(通称:ワゴ)等は禁止です。
- ④ 感電防止の為、濡れた手で触れないように注意してください。
- ⑤ 常にホコリや水気がなく、清潔な状態で使用してください。
- ⑥ 毎日、営業時間終了後は電源をコンセントより抜いて退館してください。
- ⑦ 本紙の運用について、運用前に点検し提出していただきます。また、別紙「安全確認報告書」を毎日最終退館者により、退館時に防災センターへご提出いただきます。
- ⑧ 毎日、営業時間前にはコンセント周りの清掃、プラグの抜けかけなどが無いかの確認を必ず行ってください。
- ⑨ 異常が見受けられる場合は直ぐに使用を中止しオペレーションセンターまたは防災センターに連絡をお願いします。

## 撤去時

- ① 撤去時、コンセント等の当館設備に不具合等がありましたら、速やかに防災センターへお申し出ください。
- ② 撤去後、当館の点検時に異常を発見した際には、ご連絡させていただくこともございます。

## 緊急時連絡先

オペレーションセンター

0725-51-3566

防災センター

(警備)0725-51-3466

(設備)0725-51-3466

## ■付則事項 お客様通行導線上のコード配線・モール利用時の遵守事項

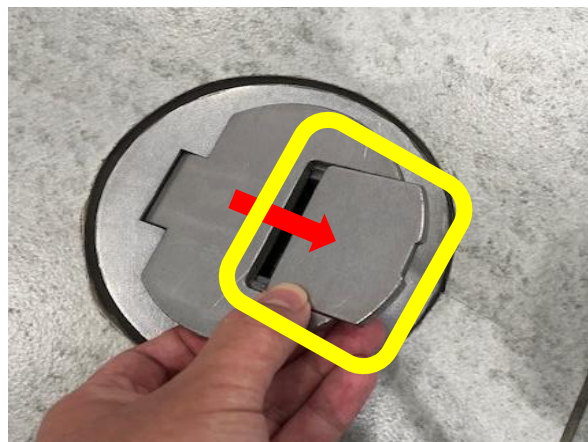
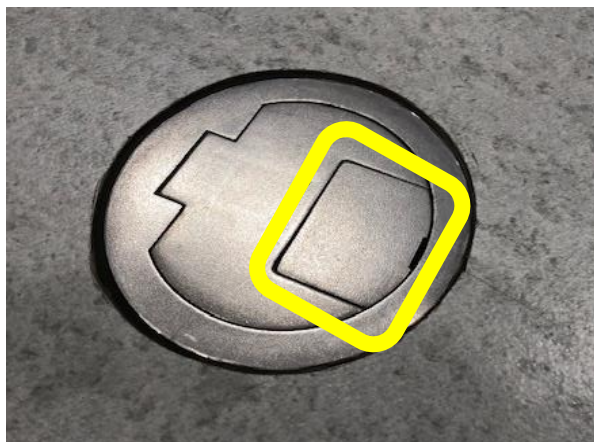
お客様通行導線上のコード配線・モール利用は原則禁止のため、やむを得ず利用しなければならない場合は以下の項目を確認のうえオペレーションセンターに利用許可を得てください。以下の内容を満たしてもオペレーションセンターの判断により許可しない場合もあります。

### 【モール利用時の遵守事項】

- ☑かまぼこ型やマット型等横断に支障が少ないモールを利用希望者が用意し、施工の範囲と床の段差が最小限なるよう努めること。
- ☑モール設置個所において注意が必要と分かるよう、周辺にPOP掲出や設置個所にトラテープ等を使用し注意喚起すること。
- ☑設置したモールの変更は禁止とし、営業中はお客様に対してスタッフより適宜お声がけを実施すること。
- ☑催事期間中は営業時間に限らず、モール配線のズレや捲れ、劣化・破損状況の確認すること。

## フロアコンセント使用方法

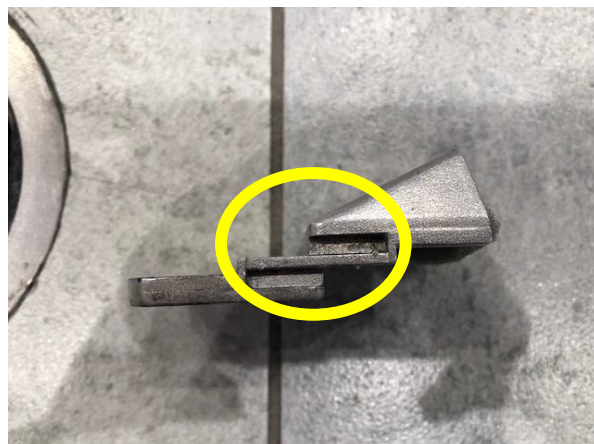
①黄枠の部品（コードチップ）を取り外す



②コードチップは一度完全に取り外し、裏返す



③裏返したコードチップの両端にあるくぼみに合わせて差し込む



④奥まで差し込み、隙間からコードを出す



正しい状態



## フロアコンセント使用方法

OK



正しい使用例

NG



誤った使用例

上から大きな圧力がかかると  
コードに負荷がかかり断線・漏電の  
危険性があります



火災につながる危険な状態です！

火災を発生させた場合は出火の責任を問われるだけでなく、  
消防・警察の出動によるイベントの中断もしくは中止、  
最悪の場合お客様や店舗従業員が全館避難しなければなりませんので  
コンセント使用の際は十分注意してください